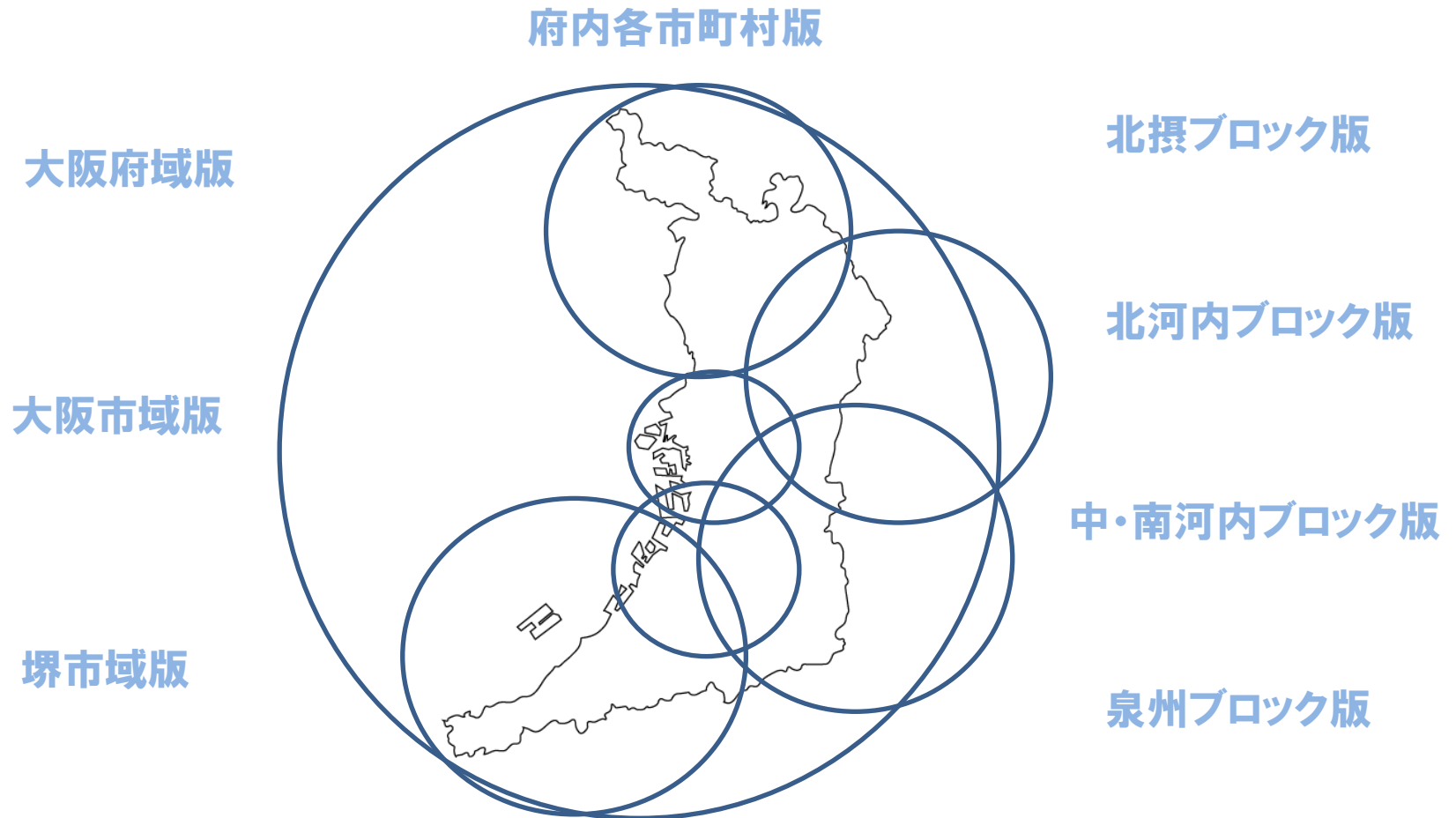


2019
大阪維新の会
高槻市・島本町マニフェスト

An outline map of Osaka Prefecture is positioned on the right side of the image. The text '2019' is in a large, light blue font at the top. Below it, '大阪維新の会' is in bold black font. Further down, '高槻市・島本町マニフェスト' is also in bold black font. At the bottom, the word 'Manifesto' is written in a large, light blue font, partially obscured by the map outline.

大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項 目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革から行政改革へ	●議員報酬10%削減（提案が否決された場合は、将来の合併を見据え島本町へ寄付） ●地方議員の議員年金復活の反対 ●外郭団体の見直し ●民間でできることは民間で（市営バスの民営化 等） ●ICT戦略局の設置 ●戦略的な財政運営 ●頑張る人が報われる、人材登用と人事評価制度 ●公務員労働組合の政治活動を規制、庁舎内にある組合事務所の無償使用・減免の実態調査と改善	人口が減少し、住民サービスの原資である税収の減少が見込まれる中、住民サービスを維持・拡充していくためには、行政の効率化と健全財政を維持することが必要。そのために。行政運営に参画する議員自ら報酬を削減し、役所に対し覚悟を示したうえで行政改革に取り組む。
議会基本条例制定で透明な市議会へ	●議会基本条例の制定 ●議会中継のインターネット公開（編集なし。本会議だけでなく、委員会等でも実施） ●政務活動費の使途基準等の見直し・厳格化。後払い制の導入 ●一問一答形式の導入 ●追認型議会からの脱却。政策提案型の議会へ進化 ●予算編成参画型議会、単に予算要望だけでなく、財源確保策も含め、闊達な議員間討論を実施	現在、高槻市議会はどうのような議論がなされているか市民へ伝わりにくい仕組みになっています。2016年度「議会改革度調査」ランキングでは全国中核市（48市）の中で最下位、2017年度は54位中、52位（54位はアンケート未回答のため）となっています。透明性のある、住民参加型の議会に向けた改革・改善が必要

項 目	具体的施策	現状・課題認識
統治機構改革で自立できる都市へ	●高槻市と三島郡島本町との合併 ●周辺自治体との広域連携の推進（例）ゴミ処理 ●府域一水道の推進、府内水道料金の一元化 ●大阪消防庁への参画、消防力の強化	大阪維新の会は、東京一極集中の中央集権体制から地域が成長し自立するための「大阪都構想」の実現を目指しています。しかし、大阪は大阪市内だけではありません。効率的な市町村の運営をしていくための人口規模は30万人から40万人と言われています。高槻市も今後、人口減少が進行していくため、高槻市と島本町の合併を推進し、簡素で地域の魅力を最大限に活かせる基礎自治体を目指します。また、市単独で実施する必要のない事務を、周辺自治体と積極的に広域連携で処理し、効率的な行政運営を目指します。
若年層対策	●学校教育の向上 ●我が国の歴史文化を尊重し、自主自立精神を養う教育の推進 ●放課後事業の改善 ●待機児童解消のための保育所確保 ●国際社会で活躍するグローバル人材の育成 ●18歳選挙権を受けて、小中学校で主権者教育を充実、若年層の投票率向上を図る ●保護者責任の明確化…家庭教育の充実、虐待の未然防止 ●母子家庭への支援 ●塾代助成事業(教育バウチャー)の導入	少子化が進む中、将来の高槻市を背負う人材の育成を強化するとともに、高槻市で生きていく自主自立の精神を養うための教育を推進しなければなりません。全国で子どものいじめ問題や自殺といった問題が顕在化するなか子ども達に自分自身を大切にする自尊心を大切にもらいたいと考えます。さらに共働き世帯が今後も増加傾向にあることから、さらなる保育環境の充実と、子どもの居場所づくりに取り組みます。

項 目	具体的施策	現状・課題認識
地域経済の活性化 と観光力の強化	●企業誘致の更なる推進 ●高槻市と商工会議所の連携強化 ●高槻市および周辺地域の魅力を活かした観光戦略 ●大阪観光局との連携と高槻観光局の強化 ●高槻もん（産）のさらなる創出とPR ●商店街の活性化	鉄道はJR・阪急ともに大阪・京都の中間に位置し、昨年には、新名神高速道路が開通。更には、古くは、大阪と京都をつなぐ水路の要所である淀川が流れています。鉄道・陸路・水路ともに、交通の利便性が高い町です。高速道路開通を機に、更なる利便性向上のため、周辺道路のアクセス力向上と地域特性を生かした町づくりが必要。交通の高いポテンシャルを最大限活用し、生産年齢人口の流入、更には交流人口増加を目指します。
超高齢化対策	●健康づくりの推進 ●地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み ●独居老人、老老介護の生活支援 ●障害者の全世代サポート ●母子家庭への更なる支援 ●高齢者の介護や居場所となる社会福祉施設の増設、グループホームの支援	2025年には、団塊世代全てが後期高齢者となり「人生100年」時代をむかえる中、高齢化・高齢者施策への対策・対応が必要になっている。元気で長生きをするため、高槻市一丸となって「健康づくり」に取り組むとともに、介護や障害を持つ方へのサポートに取組みます。

項目

つよい地域、つながる地域へ向けた、「安心安全なまちづくり」

次世代につなげる戦略的な街づくり

具体的施策

●災害対策（地域防災計画の見直し、北部地震・台風21号被害への早期復旧・復興）
 ●特殊詐欺対策
 ●高槻警察署の移転建替の推進
 ●老朽インフラ対策
 ●地域コミュニティの核となる自治会組織の向上、地区福祉の成熟化
 ●三島救命救急センターの円滑な移転建替
 所要予算(概算)及び根拠
 施策達成時期
 参考文献・根拠データ等
 大阪維新の会 高槻市 マニフェスト

●JR高槻駅南側地域の再開発
 ●JR東海道本線、立体交差化事業の推進
 ●新駅可能性検討の推進
 ●十三高槻線周辺の街づくり
 ●空き家対策の推進

現状・課題認識

本年、大阪北部地震や台風21号被害をはじめ、自然災害の脅威を経験した本市。市民の生命・財産を守るために、今回の自然災害の教訓を生かし、更なる防災・減災を推進し、災害に強い町を目指します。また、高槻市は特殊詐欺被害府下でワースト1の地域であり、大阪府警との連携のもと安全・安心なまちづくりを目指します。

鉄道はJR・阪急ともに大阪・京都の中間に位置し、昨年には、新名神高速道路が開通。更には、古くは、大阪と京都をつなぐ水路の要所である淀川が流れています。鉄道・陸路・水路ともに、交通の利便性が高い町です。高速道路開通を機に、更なる利便性向上のため、周辺道路のアクセス力向上と地域特性を生かした町づくりが必要。交通の高いポテンシャルを最大限活用し、生産年齢人口の流入、更には交流人口増加を目指します。